

福島工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	コミュニケーション論Ⅱ		
科目基礎情報							
科目番号	0035		科目区分	専門 / 必修			
授業形態	講義・演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	ビジネスコミュニケーション学科		対象学年	2			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	配布資料						
担当教員	松江 俊一						
到達目標							
①グローバルな視点で事象を捉えることができる。 ②社会的事象に関して自分の考えを持ち、意見を述べることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。		各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。		
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (A) 学習・教育到達度目標 (F)							
教育方法等							
概要	現代社会事情全般の理解に努め、個人・集団のコミュニケーションの現状を把握する。						
授業の進め方・方法	中間試験は50分間の試験を実施する。期末試験は50分の試験を実施する。定期試験60%、授業メモ・レポート・発表等40%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。						
注意点	授業中の講話や資料による知識は問題把握のきっかけにすぎない。関連する記事や書籍を自身で調べることを心がけること。課題等の資料を読み、毎回コメントを準備して授業に臨むこと。指定する方法で学習状況を記録し、試験準備等に役立てること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	生産と消費 1		市場経済のしくみと社会生活		
		2週	生産と消費 2		経済活動と3R運動の矛盾		
		3週	生産と消費 3		SD 8、9、12		
		4週	社会と自分の繋がり再考 1		社会保障、セーフティネット		
		5週	社会と自分の繋がり再考 2		保険、無尽講、家族再考		
		6週	社会と自分の繋がり再考 3		肯定的リアクション SD 1、3、4		
		7週	メディアリテラシー 1		外からの情報をどう受け取るか		
		8週	メディアリテラシー 2		フェイクニュースについて考える		
	4thQ	9週	国際問題を考える 1		「日本人、外国人」の文化論的定義		
		10週	国際問題を考える 2		貿易不均衡について考える		
		11週	国際問題を考える 3		環日本海諸国とアメリカ SD 16、17		
		12週	レジュメの作成、発表		個人発表 (5分)、相互評価		
		13週	レジュメの作成、発表		個人発表 (5分)、相互評価		
		14週	レジュメの作成、発表		個人発表 (5分)、相互評価		
		15週	前期学習したことの総括		前期末試験解答用紙の返却と解説		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	課題・発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	40	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0